

2017年10月5日

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団東京公演に特別協賛しました

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上プライマリー生命保険株式会社（本社：東京都、社長：永井 泰浩）は、2017年10月3日（火）および4日（水）にサントリーホール（赤坂）で開催された「チェコ・フィルハーモニー管弦楽団」の東京公演に特別協賛しました。

音楽大国、チェコが世界に誇る「チェコ・フィル」は、1896年のデビュー公演をドヴォルザークの指揮で開催し、さらに1908年マーラーの交響曲第7番をマーラー自身の指揮で初演するなど、歴代の名指揮者たちによって、チェコが世界に誇るオーケストラとしてその名を確たるものとなりました。1世紀以上に亘って世界の音楽史に輝かしい足跡を残しつつづけている名門オーケストラであり、その温かく美しい響きで世界中の愛好家を楽しませています。

2017年の日本公演で来日を予定していた、同楽団首席指揮者のイルジー・ビエロフラヴェク氏が本年5月にご逝去されましたが、過去にもたびたび共演を重ね、音楽的にも強い信頼関係で結ばれているペトル・アルトリヒテル氏に指揮を務めていただくことで、当公演を実現することができました。

今回の公演では、新たな伝統を築き上げた名作が並び、まさに今の「チェコ・フィル」の神髄を堪能できるプログラム演奏で、満員の聴衆を魅了しました。アンコールとしてドヴォルザークのスラヴ舞曲集第2集から第7番と第8番が演奏されましたが、最後の第8番を演奏する前に、アルトリヒテル氏から「親愛なるビエロフラヴェク氏にこの曲を贈ります」というスピーチがあり、より一層感動深いものとなりました。



当日の東京公演の様子（サントリーホール・大ホール）

本件に関するお問い合わせ先：三井住友海上プライマリー生命保険株式会社
経営企画部 TEL：03-3279-9001



2017年東京公演概要

公演名：三井住友海上プライマリー生命 *Presents*

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団・東京公演

日時：2017年10月3日（火）、4日（水）午後7時開演

会場：サントリーホール（赤坂）

主催：日本経済新聞社／ジャパン・アーツ

特別協賛：三井住友海上プライマリー生命

プログラム：

10月3日（火）

ドヴォルザーク：序曲「謝肉祭」Op. 92, B. 169

ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 Op. 104, B. 191

ジャン＝ギアン・ケラス [チェロ]

ブラームス：交響曲第4番 Op. 98

10月4日（水）

スメタナ：歌劇「売られた花嫁」序曲

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番「皇帝」Op. 73

アリス＝紗良・オット [ピアノ]

ドヴォルザーク：交響曲第8番 Op. 88, B. 163